

名古屋大学教育学部 2008年度 後期
教育方法学講義I

- 教育方法概論 -

第12回 講義資料 W

担当 柴田好章 (教育方法学・准教授)

専門家としての教師の成長とは？(1) —子どもの可能性をとらえる授業分析—

教科書：7章

◆◆教育実践記録の読み方・書き方 ———現代教育方法事典より

【実践記録づくりの意義】教育実践研究を行う目的

一つは_____のため。

二つには、_____を高めるためである。

【実践記録が備えるべき要素】

教育実践記録には、教師の_____過程と_____過程、

さらに子どもたちの_____過程と_____過程も書き込まれる必要がある。

【実践記録の書き方と読み方】

教師の意識的・内面的過程として、_____をどうとらえたか、どういう_____で働きかけたか、

子どもの_____をどう解釈し判断したか、どんな_____をもったか等がある。

_____や_____等、必ずしも自覚的ではないことも多い。

分析者や教師仲間が実践者に_____が有効である。

実践記録づくりでむずかしいのは、_____の記録である。

子どもの_____過程の記録における_____や_____、_____等から、_____

を、どう解釈し判断できたかを記録する。 どのようにすれば_____・_____につながるかという、

_____をもって読むことが大切。(高田清)



